

平成24年度 実施計画作成・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	いきいき長寿課	記入者名	松原 淳市	内線	163
事務事業名	在宅生活継続支援事業（訪問・相談等）		事業期間	平成 18 年度 ～ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉まちづくり					
	施策	高齢者福祉の充実					
	細施策	安心と安らぎある体制づくり					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市高齢者等くらし安心ネットワーク事業実施要綱						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	
高齢者等くらし安心ネットワーク事業費		01	03	02	01	005	

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

在宅において援助を必要とする高齢者や障害者に対して、声かけや安否確認等を行う福祉ネットワークづくりを推進するため、その核となるアドバイザーを各自治会単位に設置し、地域の福祉ネットワークの円滑な形成及びその効果的な推進を図る。

3 事務事業の概要

H23年度の事業概要	H24年度の事業概要・計画	H25年度の事業計画	H26年度の事業計画
○在宅福祉アドバイザー 218人 （平成24年3月31日現在） 設置自治会 218 未設置自治会 35 ○出水市社会福祉協議会へ委託 ○在宅福祉アドバイザーの資格はなし（研修会参加のみ） ○歳出：費用弁償、アドバイザー保険料	在宅福祉アドバイザー 218人 設置自治会 218 未設置自治会 35 出水市社会福祉協議会へ委託	H 2 4 年度事業の継続	H 2 5 年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
在宅で援助を必要とする高齢者や障害者等の要援護者がいる世帯。	自治会単位に声かけや安否確認等を行う在宅福祉アドバイザーを配置する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
在宅福祉アドバイザーが、要援護者等の自宅を訪問し、安心して暮らせる福祉ネットワークを形成する。	

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	最終目標	
							年度	目標値
活動指標	① 在宅福祉アドバイザー	人	218	218	219	220		
	②							
成果指標	① 訪問対象世帯	世帯	1,500	1,500	1,525	1,550		
	② 延べ訪問回数	回	72,400	72,400	73,200	74,400		

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	アドバイザーに対する研修会を実施すること等により、アドバイザーの資質向上が期待できる。
有効性	廃止・休止した場合の影響はありますか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由
	<input type="checkbox"/> ない	援助を必要とする高齢者の安否確認が行われなくなるとともに、結果として孤独死等が増加する恐れがある。
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	委託（社協）している事業であり、アドバイザー研修会、ボランティア保険料及び必要図書として最小限の経費を見込んでおり、これ以上のコスト削減は困難である。
効率性	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	類似事業はない。
その他	市の受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input type="checkbox"/> はい	理由
	<input type="checkbox"/> いいえ	本事業には該当しない。
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	ほとんどの市町村で実施されている。 (近隣市町では、阿久根市、伊佐市、さつま町で実施している。)	

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	要援護者等が、安心して暮らせる福祉ネットワークづくりを推進するため継続とする。また、アドバイザーを設置していない自治会に対し、今後、設置を推進する。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に継続とする。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に継続とするが、民生委員や高齢者訪問員等と相互に情報を交換・共有するなど、見守る側の連携を密にした、ネットワークの形成が必要である。